

加盟団体責任者
調布市剣道連盟会員 各位

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて(10)

2022年1月20日
調布市剣道連盟

変異ウイルスが再び猛威をふるい、都内の感染拡大が大変な状況となっています。政府が東京都にまん延防止等重点措置を適用することになり、調布市も市立の小中学校について、休校や学級閉鎖、部活動中止の対応をとっています。

ワクチンの接種ができない小学生が会員にいることを踏まえ、剣道連盟は少年育成団体として東京都や調布市の方針に従い、当面の間は以下のように対応します。

1. 所属団体の通常稽古は自粛する(活動しない)。
2. 現在実施が予定されている大会や段級審査に出場(受審)する人のみを対象に、剣道連盟が派遣する指導者の管理のもと、西調布体育館等で稽古を実施する。
3. 対象者の稽古は大人と子供の会場を分け、短時間での実施とする。
4. 西東京剣連、東京都剣道連盟が主催する講習会や稽古会については、個人の判断で出席を決め、主催者の指示に従い行動する。

稽古対象者には、剣連事務局で申し込み状況を確認したうえで稽古のご案内をします。参加者は(少年部は保護者の承諾のもと)所属する団体の長に参加報告を行ったうえでご参加願います。

調布市剣道連盟配下の団体から稽古実施による感染拡大が起きないように、当面の間は剣連の方針に準じていただきたいと思います。

(最終決定は各団体において行い、学校・警察は所属組織の指示に従ってください)

当面の休止期間は、まん延防止等重点措置の適用期間となる2月13日までとし、以降の対応については今後の感染状況を踏まえて判断したいと思います。

会員の皆様にはご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上